１　はじめに　項目BIZUDPゴシック１１ｐ

徳島県中学校技術・家庭科研究会

〇〇郡市〇〇〇中学校　　〇〇　〇〇10.5ｐ

◆◆◆1行開ける◆◆◆

・・主題・・BIZUDPゴシック２０ｐ

～・・副主題・・ＢＩＺＵＤＰゴシック１４ｐ～

統一大会　家庭分野　原稿様式　合田案　見開き２ｐでお願いします

　本文ＢＩＺＵＤ明朝ポイント10.5・・・・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・・・赤文字を消してお使いください。

２　研究のねらい

(1) 生徒の実態

　アンケートなどにより客観的なデータを示して記述してください。

(2) 目指す生徒の姿

○・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・身に付けている生徒

〇・・・・・・・・・・・・課題を解決することができる生徒

〇・・・・・・・・・・・生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を身に付けた生徒

↑「知識・技能」　「思考・判断・表現」　「主体的に学習に取り組む態度」の3観点での記述をお願いします。

３　研究の仮説

基本的には、主題や副主題と対応するかと思います。

４　研究内容

　研究内容については各内容ごとにまとめやすいように変えていただいて構いませんので、（案）としてあります。

(1) 研究の方法　（案）

①　題材構想シートの制作

②　学びの活用シートの制作

↑この2項目については、どのように使用したか、効果についてなど、記述をお願いします。

(2) 指導計画の工夫　（案）

題材の構成や時間数、指導項目などを簡潔な表で表すことが多いです。また配列などで工夫したことを記述します。

※統一大会の原稿はここの項目まではお書きください。研究のあゆみの原稿は、夏休み以降実践されたことを書き足されるとよいと思います。中四大会までに、どんどんと実践や明らかになったことなどをつけ足して、最終４ｐにまとめます。

(3) 学習過程の工夫　（例）

➀　生活の課題発見場面での工夫

②　解決方法の検討と計画場面での工夫

③　課題解決に向けた実践活動場面での工夫

④　実践活動の評価・改善場面での工夫

⑤　家庭・地域での実践場面での工夫

　家庭分野の「学習過程の参考例」を参考に場面ごとに分けて記述するとわかりやすいかもしれません。またここで、学びの活用シートをどのように使い、どのように評価に生かしたかなどを記述するとよいかと思います。もちろん、評価については別建てで項目（４）評価の工夫　としてもよいかと思います。

・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

５　研究の成果と課題

(1) 成果

(2) 課題

６　おわりに（この項目はない文献もあります）

　※５・６については、統一大会の原稿では必要ありません。しかしどのようにまとめるか、方向性をもって研究を進めるほうが良いかと思います。